

3 フィットネス産業について

(1) 概観

フィットネス産業においては、個々のクラブによって経営組織体制が異なり、それに伴い一人の社員が担当する仕事の領域は異なるものの、「フィットネス設備を整えて店舗を開設し、お客様にサービスを提供する」という仕事自体は規模にかかわらずフィットネス産業共通となっています。「職業能力評価基準（フィットネス産業改訂版）」では、このことを踏まえて、以下の3職種（8職務）について、その仕事に携わる方々に必要な職業能力を整理しています。

- 1) 業態開発や新規出店に向けた市場調査、マーケティング企画などの営業・店舗開発、営業企画や店舗支援など行う「営業・店舗開発」（職務：「業態・店舗開発」、「営業・店舗統括」）
- 2) 店舗目標を達成するための店舗マネジメント、オフィス業務やイベント企画などの運営事務とフロント業務を行う「店舗運営」（職務：「店舗管理」、「運営事務」、「フロント」）
- 3) 専門分野のインストラクターとして、参加者が適切かつ安全に運動できるよう指導・支援する「インストラクション」（職務：「トレーニングジム」、「スタジオ」、「プール」）

今回、職業能力評価基準の職種のうち、「店舗運営」、「インストラクション」について、モデル評価シート・モデルカリキュラム等を作成しました。

(2) 検討

「フィットネス産業」におけるモデル評価シート・モデルカリキュラム等については、中央職業能力開発協会において、社団法人日本フィットネス産業協会（会長 藤原 達治郎）との連携のもと、基準策定普及委員会（座長 原田 宗彦：早稲田大学スポーツ科学学術院 教授）を設置し、検討を行いました。

(3) 「モデル評価シート」について

訓練の職務「店舗運営」、「インストラクション」について作成しました。

(4) 「判定目安表（評価ガイドライン）」について

モデル評価シートにあわせて、訓練の職務「店舗運営」、「インストラクション」について作成しました。

(5) 「モデルカリキュラム」について

モデル評価シートに対応して、「フィットネス産業実践科（店舗運営コース）」、「フィットネス産業実践科（インストラクションコース）」について作成しました。

(6) 「人材要件確認表」について

「店舗運営」、「インストラクション」（職業能力評価基準ではレベル2に相当）の職務をこなす人材に求める要件を整理しました。

モデル評価シート『インストラクション』

(抜粋)

ジョブ・カード様式4〔評価シート〕

訓練の職務 インストラクション(職業能力形成プログラム ○○○○型)

訓練参加者氏名 (氏 名)

上記の者の訓練期間における訓練職務内容と当社としての職業能力についての評価は、以下のとおりですので、今後のキャリア形成の参考にしてください。

平成 年 月 日

実習実施企業

(評価責任者氏名・印)

(代表者氏名・代表者印)

I 企業実習・OJT期間内における職務内容

期 間	区 分	職 務 内 容
平成○年○月○日～ 平成○年○月○日	企業実習 又は OJT	

II 職務遂行のための基本的能力 (「職務遂行のための基準」ごとに、該当する欄に○を記載)

A: 常にできている B: 大体できている C: 評価しない 「評価を行わなかった」場合は/(斜線)でC欄を消す

能力ユニット	自己評価			企業評価			職務遂行のための基準	コード
	A	B	C	A	B	C		
働く意識と取組 (自らの職業意識・勤労観を持ち職務に取り組む能力)							(1) 法令や職場のルール、慣行などを遵守している。	
							(2) 出勤時間、約束時間などの定刻前に到着している。	
							(3) 上司・先輩などからの業務指示・命令の内容を理解して従っている。	
							(4) 仕事に対する自身の目的意識や思いを持って、取り組んでいる。	
							(5) お客様に納得・満足していただけるよう仕事に取り組んでいる。	

III 技能・技術に関する能力

(1) 基本的事項 (「職務遂行のための基準」ごとに、該当する欄に○を記載)

A: 常にできている B: 大体できている C: 評価しない 「評価を行わなかった」場合は/(斜線)でC欄を消す

能力ユニット	自己評価			企業評価			職務遂行のための基準	コード
	A	B	C	A	B	C		
ビジネス知識の習得							(1) 政治経済動向、一般常識などの基本的事項や関係するビジネス分野の知識の習得に取り組んでいる。	B001101
							(2) 会社の事業領域や組織形態や組織構造について概要を理解している。	B001101
							(3) 会社の経営理念や社是・社訓等の内容を理解し、可能な範囲で実践している。	B001101

(2) 専門的事項 (「職務遂行のための基準」ごとに、該当する欄に○を記載) (評価基準の出所: モデル評価シート)

A: 常にできている B: 大体できている C: 評価しない 「評価を行わなかった」場合は/(斜線)でC欄を消す

能力ユニット	自己評価			企業評価			職務遂行のための基準	コード
	A	B	C	A	B	C		
フィットネスの社会的使命とサービス精神							(1) クラブの運営方針、部門方針を正しく理解し、これに沿って行動している。	H210221
							(2) 毎週のように来店されるお客様や、スタッフ・インストラクターの顔や名前をきちんと覚えている。	H210221
							(3) お客様に対し、笑顔で丁寧に対応するなど、サービス精神を発揮している。	H210221
							(4) お客様とコミュニケーションをとりながら、不満や要望等を察知している。	H210221
健康増進に関する知識の理解と取組み							(1) ショートプログラム(注1)の増加、メタボリックシンドローム(注2)への関心の高まりなど、フィットネスクラブ経営に関するトレンドを理解している。	H210221
							(2) 健康・医療・介護等に関する最近の動向に関心をもち、主体的に情報収集している。	H210221
							(3) フィットネス産業従事者として、標準的なBMI(ボディマス指数;注3)の維持に努めるなど、日頃から自分の健康管理を徹底している。	H210221
ジム・プログラムの計画と準備							(1) 筋肉の部位・名称やその役割等について、概要を理解している。	H210221
							(2) トレーニング・プログラムの目的を理解し、筋力トレーニングのメニューや機器の使用方法等について概要を理解している。	H210221
							(3) 上位者の指示・助言を踏まえ、トレーニング・プログラムの作成補助を適切に行っている。	H210221
							(4) トレーニングジム・プログラムで使用する器具の状態を安全面から適切に確認している。	H210221
							(5) ディスプレイやヘッドホンなど、使用する器具・機器に不具合がないか適切に確認している。	H210221
							(6) 危険な器具に関しては、上位者の指示・助言を踏まえて安全性の確認を徹底している。	H210221
ジムにおける実技指導							(1) 必要な準備を済ませたうえで定刻より早めに会場に到着し、笑顔で挨拶を行っている。	H210221
							(2) プログラムの目的及び当日のトレーニングの目標や注意事項等を参加者に正しく説明している。	H210221
							(3) 参加者とコミュニケーションを図りながら助言・指導を行っている。	H210221
							(4) 指導計画から逸脱することなく、トレーニングジムに関する助言・指導を行っている。	H210221
							(5) 参加者が機器・用具を正しく取り扱っているか気を配り、誤った方法で使用している場合には、速やかに是正指導している。	H210221
							(6) 上位者の指示・助言に沿って、トレーニング終了及びクールダウンの指示・助言を適切に行っている。	H210221
							(7) 参加者からの質問に対し、基本的な事項については自ら正確な回答を行っている。	H210221
ジム・プログラム及び指導内容の評価と継続的改善							(1) 参加者からの意見や投書等を踏まえ、プログラム内容、指導方法、トレーニング時間等について自分なりに気づいた点を意見具申している。	H210221
							(2) 社内の研修制度や自己学習を通じて、より高いスキルを身につけるべく主体的に取り組んでいる。	H210221
							(3) インストラクターとしての自らのトレーニングに欠かさず取り組んでいる。	H210221

(注1) 通常のプログラムより難度・強度とも低めであり、短時間で受講可能な主に初心者向けのプログラム。

(注2) 内臓脂肪型肥満に加えて、高血糖、高血圧、脂質異常のうちいずれか2つ以上を合わせた状態のこと。食べ過ぎや運動不足など、悪い生活習慣の積み重ねが原因となって起こるため、生活習慣の改善によって、予防・改善できる。

(注3) 体重(キログラム)を身長(メートル)で2度割った数値。日本肥満学会の判定基準では、統計的にもっとも病気にかかりにくいBMI22を標準とし、25以上を肥満としている。

判定目安表 (評価ガイドライン) 『インストラクション』

(抜粋)

II 職務遂行のための基本的能力

A: 常にできている B: 大体できている C: 評価しない

能力ユニット	職務遂行のための基準	判定ガイドライン		
		A	B	C
働く意識と取組 (自らの職業意識、勤務観を持ち職務に取り組む能力)	(1) 法令や職場のルール、慣行などを遵守している。	○ルール、法令の概要及びその理由について理解していた	○日常業務でやっつけはけいなく理解していた	○職場のルールが良く分かっていなかった
	(2) 出勤時間、約束時間などの定刻前に到着している。	○実態に即してルールの見直しを提案していた	○「必ず5分前到着」など自らルールを決めていた	○ルールを破ることに抵抗感が無かった
		○時間や場所に関わらずに準備ができていた	○交通・トラブルなど遅れそうなときは必ず一報を入っていた	○無断欠勤や遅刻することがあった
		○周囲の横断となっていた	○生活リズムを働き健康管理に配慮していた	○夜更かしなど生活リズムが不規則だった
				○自分が遅刻すると周囲に迷惑がはかると理解して、ない

III 技能・技術に関する能力

(1) 基本的事項 (「職務遂行のための基準」ごとに、該当する欄に○を記載)

A: 常にできている B: 大体できている C: 評価しない 「評価を行わなかった」場合は/(斜線)で○欄を消す

能力ユニット	職務遂行のための基準	判定ガイドライン		
		A	B	C
ビジネス知識の習得	(1) 政治経済動向、一般常識などの基本的事項や関係するビジネス分野の知識の習得に取り組んでいる。	○話題が広く、幅広い問題について知っていた	○職場の会話に支障なく参加できていた	○一般常識に関するよふなことを知らなかった
	(2) 会社の事業領域や組織形態や組織構造について概要を説明している。	○関係をビジネス分野の資格試験 (例えば日経簿記検定、ビジネスキャリア制度等) の受験にも積極的だった	○新聞に目を通したりテレビのニュースを見たりしていた	○新聞やテレビのニュースをほとんど見ていなかった
		○細かいことまで理解していた	○自社ビジネスや会社組織をおおむね理解しており、特段の注意や指導を要さなかった	○基本的なことでも理解していないことがあり、逐一指導が必要だった
		○新しく入ってきた派遣社員等に概要を説明できていた	○会社案内に書いてある程度は理解していた	

(2) 専門的事項 (「職務遂行のための基準」ごとに、該当する欄に○を記載)

A: 常にできている B: 大体できている C: 評価しない 「評価を行わなかった」場合は/(斜線)で○欄を消す

能力ユニット	職務遂行のための基準	判定ガイドライン		
		A	B	C
フィットネスの社会的使命とサービスマインド	(1) クラブの運営方針、部門方針を正しく理解し、これに沿って行動している。	○クラブの運営方針、部門方針を十分に理解し、常にこれに沿って行動していた	○クラブの運営方針、部門方針を理解し、おおむねこれに沿って行動していた	○クラブの運営方針、部門方針をあまり理解しておらず、これに反する行動が散見された
	(2) 毎週のように来店されるお客様や、スタッフ・インストラクターの顔や名前をきちんと覚えていく。	○毎週のように来店されるお客様や、スタッフ・インストラクターの顔や名前をほぼ全員分覚えていた	○お客様と信頼関係を構築していた	○毎週のように来店されるお客様や、スタッフ・インストラクターの顔や名前をおおむね覚えていた
健康増進に関する知識の理解と取組み	(1) ショートプログラムの増加、メタボリックシンドロームへの関心の高まりなど、フィットネスクラブ経営に関するトレンドを理解している。	○ショートプログラムの増加、メタボリックシンドロームへの関心の高まりなど、フィットネスクラブ経営に関するトレンドを十分に理解していた	○質問を受けた場合にはおおむね回答できていた	○ショートプログラムの増加、メタボリックシンドロームへの関心の高まりなど、フィットネスクラブ経営に関するトレンドをあまり理解していないことがあった
	(2) 健康・医療・介護等に関する最近の動向に関心をもち、主体的に情報収集している。	○健康・医療・介護等に関する最近の動向に関心をもち、常に主体的に情報収集していた	○質問を受けた場合にはおおむね回答できていた	○健康・医療・介護等に関する最近の動向に関心を示さず、積極的に情報収集しよとする姿勢がみられなかった
ジム・プログラムの計画と準備	(1) 筋内の部位・名称やその役割等について、概要を理解している。	○筋内の部位・名称やその役割等について、十分に理解していた	○質問を受けた場合には正確に回答していた	○筋内の部位・名称やその役割等について、あまり理解していなかった
	(2) トレーニングプログラムの目的を理解し、筋力トレーニングのメニューや機器の使用手法等について概要を理解している。	○トレーニングプログラムの目的や、筋力トレーニングのメニューや機器の使用手法等について、概要を十分に理解していた	○質問を受けた場合には正確に回答していた	○トレーニングプログラムの目的や、筋力トレーニングのメニューや機器の使用手法等についてあまり理解してなかった
ジムにおける実技指導	(1) 必要な準備を済ませたうえで定刻より早めに会場に到着している。	○必要な準備を済ませたうえで常に定刻より早めに会場に到着していた	○常に笑顔で挨拶を行っていた	○必要な準備を怠ったり、定刻より遅れて会場に到着することがあった
	(2) プログラムの目的及び当日のトレーニングの目標や注意事項等を参加者に正しく説明している。	○プログラム目的や当日のトレーニングの目標や注意事項等を参加者に正しく説明していた	○説明不足による問題は発生しなかった	○参加者への説明が不十分なことや何度かあった
		○説明不足による問題は発生しなかった	○説明不足による問題は発生しなかった	○対応にムラがあった

フィットネス産業における教育訓練カリキュラム

平成23年2月作成

訓練科名(コース名)	フィットネス産業実践科 (インストラクションコース)	訓練修了後の 関連職種	フィットネス産業におけるインストラクションの職種				
訓練目標	職業意識の啓発を促し、社会人としての常識や心構えを身につけ、フィットネスの理念に共鳴し、人々の健康に奉仕する仕事に携わる使命感を理解し、インストラクションに係る基本的な知識と技能を習得する。						
仕上がり像	フィットネス産業におけるインストラクションに係る基本的な業務ができる。						
有期実習型訓練の内容	職務名又は教科名		職務又は教科の内容	時間	Off-JTの実施主体	備考	
	実習 (OJT)	安全衛生作業	安全作業(5S活動、安全点検、KY活動)、衛生管理実務、事故発生時の対応、救急法(心肺蘇生、AED操作方法)	他作業に包含	340	/	自企業で中心となる作業毎に教材及び内容を選択・削除(カスタマイズ)、時間を変更し設定する。
		ジムにおける実技指導作業	トレーニングジム・プログラムの目的理解・作成補助、トレーニング器具の点検・取扱、顧客へのプログラムの目的・注意事項の説明、顧客への助言・指導、トレーニングジムの指導内容の評価と改善提案				
		スタジオにおける実技指導作業	スタジオ・プログラムの目的理解・作成補助、スタジオ器具の点検・取扱、音楽・BGMの取扱、顧客へのプログラムの目的・注意事項の説明、顧客への助言・指導、スタジオ・プログラムの指導内容の評価と改善提案				
		スイミング・アクアにおける実技指導作業	スイミング・アクアプログラムの目的理解・作成補助、トレーニング器具の点検・取扱、顧客へのプログラムの目的・注意事項の説明、顧客への助言・指導、スイミング・アクアプログラムの指導内容の評価と改善提案				
	OJT計 340.0時間						
	座学等 (Off-JT)	職業能力基礎講習		コミュニケーション、キャリア形成、キャリア・コンサルティング(自己理解、自己評価)、ビジネスマナー、電話対応、顧客対応(挨拶、身だしなみ、態度、言葉遣い、CS(Customer Satisfaction))、PDCAの理解、企業活動(事業領域、組織、経営理念、社是等)の理解、コンプライアンス	5		新規採用時研修同等
		安全衛生		5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)、安全作業(安全点検、KY活動)、事故発生時の対応、救急法(心肺蘇生、AED操作方法)	6		
		フィットネス産業の基本知識		スポーツサービス全般に関する基礎知識、顧客に対するベネフィットの知識、フィットネス産業全般に関する基礎知識、クラブの運営方針、健康・医療・介護等の基礎知識	6		OJT前の基本知識の付与
		トレーニングに関する基本知識		運動生理学、食事及び栄養学、体カトレーニング、各体力要素別のトレーニング方法、トレーニングの手段・種目(ウェイトトレーニング、マシンジム、スイミング、アクアプログラム、エアロビクス、マットエクサイズ)	10		OJT前の基本知識の付与
		能力評価		オリエンテーション、ジョブ・カードによる能力評価(企業評価、自己評価)	10		
		学科計 37.0時間					
	実技	安全衛生作業		安全作業(5S活動、安全点検、KY活動)、衛生管理実務、事故発生時の対応、救急法(心肺蘇生、AED操作方法)	12		
		ジムにおける指導基本実技		トレーニングジム・プログラムの目的理解・作成補助、トレーニング器具の点検・取扱、顧客へのプログラムの目的・注意事項の説明、顧客への助言・指導、トレーニングジムの指導内容の評価と改善提案	36		OJT前の基本技能・技術の付与
		スタジオにおける指導基本実技		スタジオ・プログラムの目的理解・作成補助、スタジオ器具の点検・取扱、音楽・BGMの取扱、顧客へのプログラムの目的・注意事項の説明、顧客への助言・指導、スタジオ・プログラムの指導内容の評価と改善提案			OJT前の基本技能・技術の付与
スイミング・アクアにおける指導基本実技		スイミング・アクアプログラムの目的理解・作成補助、トレーニング器具の点検・取扱、顧客へのプログラムの目的・注意事項の説明、顧客への助言・指導、スイミング・アクアプログラムの指導内容の評価と改善提案		OJT前の基本技能・技術の付与			
実技計 48.0時間							
座学等(Off-JT)計 85.0時間							
有期実習型訓練合計 425.0時間							
主要な設備機器、教材	ジョブ・カード、各種マニュアル・ガイドライン等の資料、トレーニング器具						

人材要件確認表『店舗運営(運営事務・フロント)』

応募者氏名	
-------	--

職種:	
当該職種に求める期待人材像	

1. 本人の実務経験に関する事項

実務経験	自己申告(フィットネス業界の経験の有無) <input type="checkbox"/> 運営事務 <input type="checkbox"/> フロント <input type="checkbox"/> その他()	判定の際のチェックポイント	判定	面談者所見
職務経歴書、採用面談、実技試験等で確認した事実	①これまでの経験業務	○ どのような業務経験があるか(仕事の内容、経験年数、自分の役割は何だったか、リーダー経験の有無等を具体的に語らせる)		
	②接客サービス	○ お客様に満足していただけるよう、特にどのようなことを心がけて接客していたか(具体的な経験を語らせる) ○ これまでの接客サービス経験の中で、最も達成感があったと感じることについて(その理由とともに経験を語らせる) ○ 接客サービスでストレスや不満を感じるのどのような時か。それをどのように克服してきたか。(具体例を挙げて語らせる) ○ お客様からクレームやお叱りを受けたことがあるか。その時、どのように対処し問題を解決したか(具体例を挙げて語らせる)		
	③事務管理	○ 期限どおり確実に仕事を完了するため、どのようなことを心がけていたか。仕事を効率的に進めるコツは何だと思うか。 ○ これまでにコスト削減や業務効率化等に取り組んだことがあるか。それはどのような成果があったと考えるか(具体的に語らせる) ○ 操作経験があるPCソフトウェアおよびその操作レベルについて(具体的に語らせる)		
	④後進の育成	○ 部下や後輩を指導育成した経験があるか ○ 育成効果を上げるためにどのような工夫を行っていたか。後進のスキル向上ペースが遅い場合、どのように対処したか。		

2. 本人の基礎能力に関する事項

上記に含まれない全般的な事項	判定の際のチェックポイント	判定	所見	
職務経歴書、採用面談、実技試験等で確認した事実	応募理由	○ なぜ応募したのか、フィットネス産業についてどのようなイメージをもっているか。(応募動機等を具体的に語らせる) ○ 将来のキャリア目標は何か、店舗スタッフとしてどのようなサービスを提供したいか		
	仕事に対する基本姿勢	○ 仕事に対してどのような価値観を持っているか、働くうえで重視していることは何か(具体的に語らせる) ○ コンプライアンスや職業倫理について(応募者の理解や過去の経験・失敗談等を語らせる)		
	マナー、言葉遣い	○ マナーや身嗜み、態度、言葉遣い(敬語等)に問題はないか(面接での受け答えを通じて確認する)		
	コミュニケーション	○ 明るく、ハキハキとした口調でコミュニケーションができるか(面接での受け答えを通じて確認する) ○ 論理的で首尾一貫した説明や受け答えができるか(面接での受け答えを通じて確認する)		
	チームワーク	○ 上司や先輩、同僚とうまくやっていくために、どのようなことに気をつけていたか(具体的に語らせる) ○ 同僚や先輩と人間関係上のトラブルを経験したことがあるか。それをどのように解決したか。		
	リーダーシップ	○ これまでの職務の中で、リーダーとして他のメンバーを取りまとめた経験があるか(具体的に語らせる) ○ リーダーとして他のメンバーと関わる際、どのような点に注意していたか(成功談・失敗談等を語らせる)		
	健康の維持・増進	○ 健康の維持・管理について、日頃から気をつけていることがあるか。 ○ 今、何かフィットネス上の目標を設定し取り組んでいるか(具体的に語らせる)		

3. 保有資格(該当するものをチェック)

<input type="checkbox"/> ビジネス・キャリア検定試験(職種: 級:) <input type="checkbox"/> 簿記検定 <input type="checkbox"/> 衛生管理者 <input type="checkbox"/> 防火管理者 <input type="checkbox"/> 英検/TOEIC等(級/点)) <input type="checkbox"/> その他()
--

総合所見		総合判定

「判定」欄には、次の記号を記入。3・・・相当深い知識・経験や十分な適正があることが確認できた 2・・・ある程度の知識・経験や適正があることが確認できた 1・・・知識・経験や適正が乏しいことが確認できた
 ※・・・確認し切れなかった

「総合判定」欄には、次の記号を記入。A・・・ぜひ採用候補とすべき B・・・採用候補とすべき C・・・採用基準から外れる D・・・判断留保

面談者氏名	面談日
印	